

1. 件 名：訓練シナリオ開発ワーキンググループ準備打ち合わせ

2. 日 時：令和3年6月14日 16:00～16:40

3. 場 所：原子力規制庁 3階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、平野室長補佐

日本原子力発電株式会社

発電管理室警備・防災グループ 主任 他1名

原子力エネルギー協議会

副長

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官

北海道電力株式会社

原子力事業統括部原子力業務グループ 担当 他2名

東北電力株式会社

原子力部 課長（原子力防災担当） 他2名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 課長 他2名

中部電力株式会社

原子力部防災・核物質防護グループ 課長 他3名

北陸電力株式会社

原子力本部原子力部原子力防災チーム 統括(課長) 他1名

関西電力株式会社

原子力事業本部危機管理グループ マネジャー 他3名

中国電力株式会社

電源事業本部原子力運営グループ 副長

四国電力株式会社

原子力保安研修所運転訓練グループ グループリーダー 他3名

九州電力株式会社

原子力発電本部原子力防災グループ グループ長 他2名

5. 要 旨

事業者から、予定している第7回訓練シナリオ開発ワーキンググループに向けた準備状況として、資料に基づき、これまでのⅡ型訓練の成果のとりま

とめ状況等の説明があった。

原子力規制庁から、主に以下を伝えた。

- ・ 第7回訓練シナリオ開発ワーキンググループにおいて、令和2年度におけるⅠ型及びⅡ型訓練のとりくみ、これまでのⅠ型及びⅡ型訓練の成果、訓練シナリオ開発ワーキンググループの今後の在り方について報告すること。このうち、令和2年度におけるⅠ型及びⅡ型訓練の取り組みについては、令和2年度訓練シナリオの訓練実施計画、令和3年度の進め方等を示すこと。
 - ・ Ⅱ型訓練の成果については、現場の対応能力の向上の目的と照らし、具体的な成果を示すこと。また、これまでの取り組みを踏まえ、活動のフェーズを高めるための取り組み方針等を整理して示すこと。
- 事業者から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

6. その他

配付資料：

資料1 「訓練シナリオ開発ワーキンググループ Ⅱ型訓練の成果」